

令和6年度

教育訓練計画



高知県消防学校

目 次

1	教育訓練の目的と教育方針	1
2	教育の種類及び内容	1～2
3	教育訓練計画表	3
4	教育訓練日程表	4
5	教育科目及び時間数	5～12

1 教育訓練の目的と教育方針

消防職員及び消防団員に対し、消防の責務を正しく認識させ、資質の向上、学術及び技能の修得並びに体力及び気力の鍛錬を図り、幅広い視野と豊かな人間感覚を持って、職務を遂行し、地域住民の信頼と期待に応え得る消防人を育成することを目的とし、次の教育方針をもってこれにあたる。

- 1 消防責務の自覚
- 2 厳正な規律と団結
- 3 心身の鍛錬
- 4 消防実務の習熟

2 教育の種類及び内容

1 消防職員に対する教育

(1) 初任教育

新たに採用された消防職員に対し、必要な基礎実技と学術及び厳正な規律と旺盛な士気並びに体力の鍛錬を図り、公正な職務の遂行をなし得る資質を養う。

(2) 専科教育

現任の消防職員に対し、専門的な教育訓練を行う。

ア 救助科

救助隊員として必要な知識、技術を修得させ、救助隊員として活動できる職員を養成する。

イ 救急科

救急隊員として必要な知識、技術を修得させ、救急隊員として活動できる職員を養成する。

ウ 火災調査科

火災調査の重要性を認識させるとともに、専門的な知識、技術を修得させ、火災調査を適切に実施できる職員を養成する。

エ 警防科

警防業務に係る専門的知識、技術を修得させ、災害現場で適切、効果的な消防戦術を指揮できる職員を養成する。

(3) 幹部教育

幹部科

指導的立場にある消防職員に対し、幹部として必要な幅広い知識及び指揮監督能力を修得させる。

(4) 短期研修

ア 若年層研修

採用からおおむね3年～5年の消防職員に対し、基本的な知識、技術の学習機会及び訓練環境を提供する。

イ 予防査察指導者研修

予防業務の指導的立場にある消防職員に対し、職員育成意識を向上させる。

ウ 火災性状体験研修

火災性状を体験的に学習することで、火災対応力及び安全管理意識の向上を図る。

エ 地域防災指導者研修

地域の防災力向上を図るために開催する住民を対象とした訓練の指導者を育成する。

2 消防団員に対する教育

(1) 基礎教育

新任の消防団員に対し必要な基礎的知識及び技術並びに厳正な規律を修得させる。

(2) 幹部教育（指揮幹部科）

ア 現場指揮課程

指導的立場にある消防団幹部の者に対し、実践的訓練を中心とした教育訓練により消火・救助等の知識及び技術を修得させる。

イ 分団指揮課程

指導的立場にある消防団幹部の者に対し、分団本部等で指揮を行うために必要な知識及び技術を修得させる。

(3) 特別教育

ア ポンプ操法指導員講習

ポンプ操法を指導する消防団員の指導技法や技術などのレベルアップを図る。

イ 特別（移動）教育

市町村（消防本部）の要請によって、現地に出向して教育訓練を行い、消防団員としての必要な知識及び技能を修得させる。

3 一般教育

一日震災訓練

自主防災組織のメンバー等を一日入校させ、震災時に対処できる実践的な教育訓練を行い、地域における防災体制の充実、強化を図る。

3 教育訓練計画表

種 別		対 象	実施予定期間	延日数	実日数	回数	受入人員 (1回当)	研修方法		
消 防 職 員	初 任 教 育	新たに採用された消防職員	令和6年4月4日～9月20日	170日	116日	1回	60人	全 寮 制		
	専 科 教 育	救 助 科	救助隊員として、基礎的な知識、技術及び体力を有し救助業務に従事している者又はその予定者（年齢は原則として上限40歳まで）	令和6年9月30日～11月1日	33日	24日	1回	30人	全 寮 制	
		救 急 科	救急業務に従事しようとする者	令和6年10月28日～12月18日	52日	37日	1回	60人	全 寮 制	
	防 育	火 災 調 査 科	火災調査業務に従事している者又はその予定者	令和6年11月12日～11月29日	18日	14日	1回	30人	全 寮 制	
		警 防 科	分隊（小隊）を指揮する立場の者又はその予定者	令和7年1月16日～2月6日	22日	16日	1回	30人	全 寮 制	
	職 教 育	幹 部 科	消防士長以上の階級にある者であって指導的立場にある者	令和7年2月12日～2月21日	10日	8日	1回	30人	全 寮 制	
	員	短 期 研 修	若 年 層 研 修	採用後おおむね3年～5年の者	令和6年6月4日～6月5日	2日	2日	1回	30人	入 寮
		予 防 査 察 研 修	予防業務について指導的立場にある者	令和6年7月9日～7月10日	2日	2日	1回	30人	入 寮	
		火 災 性 状 体 験 研 修	コンテナ施設での火災性状体験を体験していない者で、階級の上位者から全職員	①令和6年11月6日 ②令和6年12月24日 ③令和7年1月10日	1日	1日	3回	20人	通 学	
		地 域 防 災 指 導 者 研 修	住民に対する防災訓練を指導及び推進する者	令和7年2月26日～28日	3日	3日	1回	30人	全 寮 制	
消 防 団 員	基 礎 教 育	消防団員の階級にある者	前期 第1回 令和6年6月8日～9日 第2回 令和6年6月22日～23日 第3回 令和6年7月13日～14日	4日	2日	3回	60人	現 地 通 学		
			後期 第1回 令和6年12月7日～8日 第2回 令和6年12月21日～22日		2日	2回	60人	入 寮		
	幹 部 教 育	指 揮 幹 部 科 (現場指揮課程)	班長以上の階級にある者等	令和6年10月19日～20日	2日	2日	1回	60人	入 寮	
		指 揮 幹 部 科 (分団指揮課程)		令和7年2月8日～9日	2日	2日	1回	60人	入 寮	
	特 別 教 育	ポ ン プ 操 法 指 導 員 講 習	ポンプ操法経験者又は班長以上の階級にある者でポンプ操法指導者としての立場にある者	令和6年11月9日～10日	2日	2日	1回	30人	通 学	
		特別（移動）教育	地区消防団員	随 時				現 地 通 学		
一 般 教 育	一 日 震 災 訓 練	自主防災組織のメンバー等	①令和7年2月26日 ②令和7年2月28日	1日	1日	2回	48人	通 学		

5 教育科目及び時間数

1 消防職員に対する教育

(1) 初任教育

期 間・・・令和6年4月4日（木）～ 9月20日（金）

種 目	教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
基礎教育	倫理	講話、人権教育	5	5
		効果測定		
	法学基礎・消防法	法学基礎	6	16
		消防法	8	
		効果測定	2	
	消防組織制度	地方自治制度	2	9
		消防制度	6	
		効果測定	1	
	服務と勤務	地方公務員制度	4	17
		公務員倫理	2	
		消防職員の処遇	2	
		職場生活	2	
		個人情報保護	2	
		文書実務	2	
		通信	2	
		効果測定	1	
理化学	現場活動の物理	4	12	
	燃焼理論と化学	4		
	消防活動と電気	3		
	効果測定	1		
実務教育	予防広報	防火防災管理・消防広報	8	9
		効果測定	1	
	危険物	消防危険物	15	23
		危険物査察	7	
		効果測定	1	
	消防用設備	消防用設備	10	11
		効果測定	1	
	査察	消防査察	11	17
		査察シミュレーション	5	
		効果測定	1	
	建築	消防同意・建築法令・規制	9	10
		効果測定	1	
	安全管理	安全管理・火災性状と放水技術	23	24
		効果測定	1	
	特殊災害と保安	酸素欠乏	8	10
		効果測定	2	
	火災防ぎよ	概論・建物・林野・油	6	18
		火災防ぎよの実技	11	
		効果測定	1	
	火災調査	火災調査	7	15
火災調査実習		7		
効果測定		1		

種 目	教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
実務教育	防災	防災対策・広域応援・震災訓練	19	31
		土砂災害	2	
		水防法	2	
		気象と災害	3	
		水防工法	4	
		効果測定	1	
	救急	総論・傷病者接触・J P T E C	7	12
		自動体外式除細動器	4	
		効果測定	1	
消防機械・ポンプ	消防機械・ポンプ	8	9	
	効果測定	1		
実科訓練	訓練礼式	訓練礼式	42	48
		実技効果測定	6	
	消防活動訓練	消防活動概論・消防活動訓練	115	151
		ポンプ操法	25	
		実技効果測定	11	
	消防活動応用訓練	消防活動応用訓練	19	19
	救助訓練	救助概論	33	103
		救助訓練	63	
		実技効果測定	7	
	体育	体育	9	48
		スポーツ障害	3	
		栄養管理	5	
		体育理論・消防メンタル	7	
		体力練成・持久走	14	
		体力測定	10	
機器取扱訓練	機器取扱訓練・基本結索	19	19	
効果測定	学科効果測定(訓練礼式、消防活動、救助)	3	3	
その他	実務研修	所属実務研修	35	35
	選択研修	水上安全法	35	70
		無線通信	14	
		施設実地研修	21	
	行事・その他	人財育成	8	68
		意見発表	2	
		入校式	2	
		卒業式	2	
		実技訓練発表	3	
		防災訓練視察・見学	7	
		救助大会視察・見学	7	
		消防署・空港施設視察・見学	7	
		危険物施設視察・見学	4	
		その他	26	
		合 計		

(2) 専科教育

ア 救助科

期間・・・令和6年9月30日(月)～11月1日(金)

教科目	項目	時間数	総時間数
安全管理	安全管理理論	1.5	6
	小隊指揮	1.5	
	人材育成・訓練企画	3	
災害救助対策	USAR・狭隘空間救助	14	26
	DMAT・狭隘空間救助	7	
	消防広域応援	2	
	震災対策・現場活動事例	3	
救助訓練	基本訓練	8	92
	ロープレスキュー	28	
	交通救助訓練	21	
	火災救助訓練	28	
	土砂災害	7	
総合訓練	総合訓練	8	20
	学生企画訓練	8	
	振り返り訓練	4	
体育	体育理論・消防メンタル	7	7
課題研究	課題研究・発表	9	9
効果測定	効果測定	1	1
行事・その他	行事・その他	7	7
合計			168

イ 救急科

期間・・・令和6年10月28日(月)～12月18日(水)

教科目	項目	時間数	総時間数
講話	講話	1	1
救急業務及び救急医学の基礎	総論(医療体制・他機関連携)	2	30
	総論(沿革と意義・運用体制)	3	
	総論(関連法規・社会保障・福祉)	1	
	救急業務各論	4	
	医学概論	1	
	解剖生理	14	
	通信指令要領	5	
応急処置の総論	観察と判断	1	55
	応急処置総論	2	
	応急処置各論	49	
	災害と多数傷病者対応	3	
病態別応急処置	外傷	3	29
	診療・放射線・熱傷・電撃傷	4	
	麻痺・頭痛・めまい	3	
	呼吸困難・ショック・意識障害	4	
	腹痛・腰背部痛・喀血・吐血・下血	3	
	胸痛・動悸	2	
	溺水・異物・環境障害	3	
	緊急度と重症度・心肺停止	2	
	メンタルヘルス・PTSD	3	
	中毒	2	

教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
特殊病態別応急処置	小児・新生児	4	15
	産婦人科・周産期	2	
	高齢者・精神障害	4	
	感染症・感染防止	3	
	その他の創傷処置	2	
実習及び行事	シミュレーション実習	46	129
	体位・保温管理	2	
	資器材取扱	2	
	各種搬送法	3	
	多数傷病者発生時対応訓練	6	
	高エネルギー外傷	7	
	救急ヘリ搬送	3	
	学校企画訓練	3	
	病院・所属実務研修	21	
	学科・実技効果測定	15	
	行事・その他	21	
	合 計		

ウ 火災調査科

期 間・・・令和6年11月12日（火）～ 11月29日（金）

教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
原因調査関係法規	火災調査概論	2	4
	放火犯罪	1	
	情報公開と保護	1	
原因調査・損害調査・鑑定	事故情報収集制度	2	36
	燃焼理論	1	
	写真撮影要領	1	
	火災調査の進め方・実習の進め方	4	
	火災報告取扱要領	1	
	実況見分要領	3	
	車両火災の見分要領	3	
	損害調査要領	3	
	電気機器鑑識要領	6	
	燃焼機器鑑識要領	6	
	質問調査要領	1	
	燃焼実験	5	
調査実習	模擬家屋火災調査	11	11
調査書類	調査書類作成・発表	31	31
事例研究	火災事例・模擬裁判	2	2
効果測定	効果測定	1	1
行事・その他	行事・その他	13	13
合 計			98

エ 警防科

期 間・・・令和7年1月16日(木)～2月6日(木)

教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
防災	気象と災害(土砂災害対策)	2	2
消防戦術と安全管理	安全管理・火災現場指揮・呼吸器取扱い	7	12
	消防設備	3	
	火災防ぎょ・消防戦術	2	
実技訓練	警防技術訓練	8	76
	指揮訓練	25	
	燃焼実験	1	
	火災防ぎょ戦術	7	
	火災性状	11	
	ファイヤーファイターサバイバル	7	
	学生企画訓練	10	
	指導実践	7	
効果測定	効果測定	1	1
行事・その他	教育技法・企画要領・課題解決能力	3	21
	行事・その他	18	
合 計			112

(3) 幹部教育(幹部科)

期 間・・・令和7年2月12日(水)～2月21日(金)

教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
講話	講話	1	1
訓練礼式	訓練礼式	1	1
消防財政	消防財政	1	1
人事業務管理	惨事ストレス	2	19
	消防メンタル	7	
	教育技法	4	
	部下の指導・人権	3	
	コミュニケーション・説得技法	3	
安全管理	組織における安全管理体制	4	15
	火災性状・火災防ぎょ	11	
現場指揮	現場指揮	2	2
事例研究	事例研究(東日本大震災)	4	12
	課題研究(討議・発表)	8	
行事・その他	行事・その他	5	5
合 計			56

(4) 短期研修

ア 若年層研修

期 間・・・令和6年6月4日(火)～6月5日(水)

(宿泊又は通学)

教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
予防	消防用設備・防火防災管理・実習等	6	6
安全管理	火災性状	1	6.5
	燃焼実験	2	
	安全管理	1	
	火災性状体験訓練	2.5	
行事・その他	行事・その他	1.5	1.5
合 計			14

イ 予防査察指導者研修

期 間・・・令和6年7月9日(火)～7月10日(水)

(宿泊又は通学)

教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
消防査察	予防行政の現状と課題	1	10
	査察シミュレーション	9	
教育技法	人材育成	2	2
事例研究	指導者としての課題	2	2
合 計			14

ウ 火災性状体験研修

実施日・・・第1回 令和6年11月 6日(水)

第2回 令和6年12月24日(火)

第3回 令和7年 1月10日(金)

教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
安全管理	火災性状	1.5	7
	燃焼実験	1.5	
	体験訓練	4	
合 計			7

エ 地域防災指導者研修

期 間・・・令和7年2月26日(水)～2月28日(金)

教 科 目	項 目	時 間 数	総時間数
指導要領	指導技法	7	21
	指導演習	14	
合 計			21

2 消防団員に対する教育

(1) 基礎教育

区 分	期 間 等
前 期	第 1 回 令和6年6月8日(土)～6月9日(日) 中央地区を対象として消防学校で実施(2日間通学)
	第 2 回 令和6年6月22日(土)～6月23日(日) 東部地区を対象として現地で実施(2日間通学)
	第 3 回 令和6年7月13日(土)～7月14日(日) 西部地区を対象として現地で実施(2日間通学)
後 期	第 1 回 令和6年12月7日(土)～12月8日(日) 消防学校で実施(1泊2日宿泊または2日間通学)
	第 2 回 令和6年12月21日(土)～12月22日(日) 消防学校で実施(1泊2日宿泊または2日間通学)

教 科 目	項 目	時 間 数
講話	講話	1
訓練礼式	訓練礼式	4
組織制度	組織制度	1
機器取扱い訓練	資機材取扱い訓練	7
	放水訓練(機関運用訓練)	
火災防ぎょ	火災性状・安全管理	3
防災	震災対策訓練	4
	土砂災害	
	地震対策	
救急救助	救急救助	4
緊急自動車運行管理	緊急自動車運行管理	1
行事・その他	行事・その他	3
合 計		28

(2) 幹部教育

ア 指揮幹部科(現場指揮課程)

期 間・・・令和6年10月19日(土)～10月20日(日)

(宿泊又は通学)

教 科 目	項 目	時 間 数
講話	講話	5
現場指揮	現場指揮	
安全管理	安全管理・火災防ぎょ・火災性状	
組織管理	組織管理	
救助・救命訓練	トリアージ・応急手当・搬送法・救助資器材取扱い	4
震災対策訓練	震災対応	2.5
災害情報収集・伝達訓練	災害情報収集・無線交信要領	1
行事・その他	開校式・修了式等	1.5
合 計		14

イ 指揮幹部科（分団指揮課程）

期 間・・・令和7年2月8日（土）～ 2月9日（日）

（宿泊又は通学）

教 科 目	項 目	時 間 数
講話	講話	1
組織制度	組織制度	
防災	土砂災害	2
	地震対策	1
災害対応図上訓練	災害情報伝達訓練	2
事例研究	安全管理	4.5
	課題解決	
	火災事例	
	火災性状（燃焼実験）	
行事・その他	開校式・修了式等	1.5
合 計		12

(3) 特別教育

ア ポンプ操法指導員講習

期 間・・・令和6年11月9日（土）～ 11月10日（日）

（宿泊又は通学）

教 科 目	項 目	時 間 数
操法要領	操作実施要領	2
ポンプ操法	操法要領・指導技法（小型ポンプ/ポンプ車）	7
行事・その他	開校式・修了式	1
合 計		10

イ 特別（移動）教育

市町村の実情に応じて適宜カリキュラムを編成する。

3 一般教育

一日震災訓練（2回実施）

実施日・・・令和7年2月26日（水）

令和7年2月28日（金）

教 科 目	項 目	時 間 数
住民救助隊養成研修	災害対応理論・災害時の心理	2.5
	チームとリーダー	
	火災対応訓練	3
	応急処置・トリアージ	
災害想定訓練		
行事・その他	開校式・修了式	0.5
合 計		6